



みんなで楽しいスタジアムをつくらう。  
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。

- No Bottles or Cans  
びん、缶、液体の持ち込み禁止
- No Fireworks, Smoke Cansisters or Horns  
花火、爆竹、発煙筒、ガスボンベの持ち込み禁止
- No Throwing  
フォーム、帽子、の投げ込み禁止
- No Jumping Down to the Field  
フィールドへの飛び降り禁止
- No Violence  
暴力行為の禁止

AFC Champions League 2018  
Group E Matchday 3  
2018.03.06 TUE

VS 傑志 (香港)



チカラをひとつに。  
-TEAM AS ONE-

# 柏から世界へ

# GS突破には勝利がマスト マリノス戦の流れをACLに!

3月2日に行われた明治安田生命J1リーグ第2節では、小泉慶、バク・ジョンスら新たに起用された選手の奮闘もあり、2-0で勝利を収めた。これで公式戦3試合続いていた悪い流れを断ち切るとともに、巻き返しを促すきっかけの1勝にしたい。

ACLはグループステージの第3節を迎える。相手は香港の傑志だ。この2戦を振り返ると、傑志は天津権健には0-3、全北現代には0-6と大量失点で連敗をしている。レイソルがグルー

プステージを突破するためには、大谷秀和は「この傑志との2つの試合は確実に取らなければならない」と言い、連勝はマストだと位置付ける。そのうえで「勝つためには横浜FM戦のようにハードワークをして、身体を張る部分はスタンダードなベースとしてやり続けること」と、チームのやるべきことを強調している。

しかし、そもそもACLに簡単な相手などない。天津権健戦は、あれだけ圧倒したにもかかわらず、好機を仕留め切れずに最後の最後で

FWアレシャンドレ・パトの一発によって勝点3を取りこぼした。そして傑志には、2010年南アフリカワールドカップ得点王にして2014年から1年半、セレッソ大阪でプレーしたFWディエゴ・フォルランがいる。実力的にはレイソルが押し込む展開が予想されるが、もしまたフィニッシュの精度を欠くようだと天津権健戦の二の舞にならないとも限らない。

第3戦だがグループステージ突破を左右する重要な一戦。リーグ戦勝利の流れを生かせるか。

### ハタメグミのお絵かき 日立台

日立台での連戦、マリノス戦の初勝利の勢いそのままに、ACLでも勝ちたい! いや勝ちたいじゃなくて勝たねば、絶対勝つのだー! 柏から世界へ★

### 食べ尽くせ!! 日立台グルメ

- ①鳥よし (カレー など)
- ②ローソン (おにぎり など)
- ③ブラウンシュガー (焼きそば など)
- ④日京クリエイト (レイソル勝つサンド など)
- ⑤ローソン (おにぎり など)
- ⑥Labo Café×E・S・A (プルたま丼 など)
- ⑦ITSブラジリアンパーベキュー (レイソル勝つドッグ など)
- ⑧ボンベイ×日立台カレーぶ (レイソルカレー など)
- ⑨海賊船 (たこ焼き など)
- ⑩エフェケパブ (ドネルケパブ など)
- ⑪ブラウンシュガー (ステーキプレート など)
- ⑫日京クリエイト (3/6は休業)
- ⑬侍 (もつ煮込み など)
- ⑭ローソン (おにぎり など)
- ⑮ドミノピザ (ピザ各種 など)
- ⑯D&C (チーズドッグ など)

# 柏レイソル vs 傑志



2018.03.06 TUE 日立柏サッカー場  
19:30 KICK OFF

## 傑志足球隊

[監督] 下平 隆宏 Takahiro SHIMOTAIRA

- 1 GK 桐畑 和繁 Kazushige KIRIHATA
- 2 DF 鎌田 次郎 Jiro KAMATA
- 3 DF ユン ソギョン YUN Suk-Young
- 4 DF 中谷 進之介 Shinnosuke NAKATANI
- 5 DF 中山 雄太 Yuta NAKAYAMA
- 7 MF 大谷 秀和 Hidekazu OTANI
- 8 MF 小泉 慶 Kei KOIZUMI
- 9 FW クリスティアーノ CRISTIANO
- 10 MF 江坂 任 Ataru ESAKA
- 11 FW 山崎 亮平 Ryohei YAMAZAKI
- 13 DF 小池 龍太 Ryuta KOIKE
- 14 FW 伊東 純也 Junya ITO
- 15 MF キム ボギョン KIM Bo-Kyung
- 16 GK 滝本 晴彦 Haruhiko TAKIMOTO
- 17 MF 手塚 康平 Kohei TEZUKA
- 18 FW 瀬川 祐輔 Yusuke SEGAWA
- 19 MF 中川 寛斗 Hiroto NAKAGAWA
- 20 FW ハモン ロペス RAMON LOPES De Freitas
- 21 GK 猿田 遥己 Haruki SARUTA
- 22 DF バク ジョンス PARK Jeongsu
- 23 GK 中村 航輔 Kosuke NAKAMURA
- 24 DF 宮本 駿晃 Toshiaki MIYAMOTO
- 25 MF 田中 陸 Riku TANAKA
- 26 DF 古賀 太陽 Taiyo KOGA
- 27 DF 今井 智基 Tomoki IMAI
- 28 MF 栗澤 僚一 Ryoichi KURISAWA
- 29 DF 中川 創 Sou NAKAGAWA
- 30 MF 澤 昌克 Masakatsu SAWA
- 37 MF 細貝 萌 Hajime HOSOGAI
- 39 DF 亀川 諒史 Masashi KAMEKAWA

※出場停止なし

**Staff**

- ヘッドコーチ/加藤 望 Nozomu KATO
- コーチ/岩瀬 健 Ken IWASE
- フィジカルコーチ/松原 直哉 Naoya MATSUBARA
- GKコーチ/松本 拓也 Takuya MATSUMOTO

KASHIWA Reysol



AFC CHAMPIONS LEAGUE

KITCHEE Sports Club

[監督] チュー・チークウォン CHU Chi Kwong Alex

- 1 GK ワン・チェンポン WANG Zhenpeng
- 2 DF ナンド NANDO
- 3 DF ダニエル・カンセラ Daniel Cancela
- 5 DF エリオ HELIO
- 7 MF フェルナンド FERNANDO
- 8 FW アレックス ALEX
- 10 MF ラム・カーワイ LAM Ka Wai
- 11 FW サンドロ SANDRO
- 12 DF ロー・クワンイー LO Kwan Yee
- 13 DF リー・ガイホイ LI Ngai Hoi
- 14 FW ジョルディ JORDI
- 15 FW クリスティアン・クウェシ Christian Kwesi
- 17 FW パウリーニョ PAULINHO
- 18 FW ディエゴ・フォルラン Diego FORLAN
- 19 MF フアン・ヤン HUANG Yang
- 21 DF トン・キンマン TONG Kin Man
- 23 GK グオ・ジエンチャオ GUO Jianqiao
- 28 FW チェン・チンルン CHENG Chin Lung
- 30 GK ウォン・ツーホー WONG Tsz Ho
- 32 MF クリスティアン・ヴァドーツ Krisztian VADOCZ
- 90 DF キム・ボンジン KIM Bongjin

※出場停止なし

### 予想スターティングメンバー



### Stop the Key Player

傑志 18FW ディエゴ・フォルラン

マンチェスターU、ビジャレアル、アトレチコ・マドリッドといった名だたる欧州のビッグクラブで活躍し、ウルグアイ代表としては2010年の南アフリカワールドカップで同国の4位に貢献、得点王にも輝いた。2015年のセレッソ退団後はベニャロール、ムンバイ・シティFCを渡り歩き、今年1月から傑志に加入。香港プレミアリーグでは早くも5得点を叩き出し、38歳になった今でも依然として高い得点力を誇示している。



©J.LEAGUE ※写真は2014年セレッソ大阪時代

### 傑志足球隊

<http://www.kitchee.com/>

傑志は1931年に設立された、香港で最も歴史のあるスポーツクラブの一つ。今大会には香港プレミアリーグ2016/2017のチャンピオンとして参戦している。元ウルグアイ代表のディエゴ・フォルラン以外にも多くの帰化選手や外国籍選手を擁し、今期のリーグ戦でもここまで無敗で首位を快走している。

## Reysol Goods!

AFC CHAMPIONS LEAGUE 2018

AFC  
チャンピオンズリーグ  
2018  
グループステージ  
大会公式プログラム  
¥1,000



3月6日より新発売!

※記載されている金額は消費税(8%)込みの金額となります。  
※こちらの商品はアソシエイツ会員割引対象外となります。予めご了承ください。

◎柏熱地帯グッズ売店、メインスタンド2Fコンコース内売店での取扱いとなります。  
(バックスタンドグッズ売店での取扱いはございません)

◎レイソルオフィシャルオンラインショップ、サッカーショップKAMO柏店でも販売いたします。  
※ゼビオ モラージュ柏店、ゼビオ かわら沼南WOOWOCITY店、東急ハンズ柏店ではお取扱いいたしませんのでご注意ください。

— 加入から2か月が経ちましたが、レイソル移籍の理由を教えてくださいませんか？

「新しいチャレンジという意味が一番大きいです。F・マリノスも良いサッカーをしていましたが、レイソルのサッカーが非常に魅力的でプレーしてみたいと感じましたし、他のチームで自分がどれだけできるかを確認したくて移籍に至りました」

— 具体的にその魅力とは？

「選手全員がレイソルのサッカーを意識してイメージを共有していますし、同じサッカーをやっていくという姿勢が見て取れました。あとはビルドアップをしていくスタイルと、強力な攻撃陣が揃っている点で魅力を感じました。ただ、一番はビルドアップの部分です」

— 実際に入ってみて、レイソルの選手と一緒にプレーをした感想はいかがですか？

「自分がイメージしていたとおり、選手個人個人の能力が高いうえに、監督がやろうとしているサッカーに対して全員が共通意識を持っている。予想したとおり、良いチームだという印象です」

— 韓国人の選手、特にDFは球際の強い選手が多いです。パク・ジョンス選手もそういう部分を持っていますが、ビルドアップに関してはどのように身につけていったのでしょうか？

「僕は高校までボランチをやっていました。ボランチでプレーしながら、センターバック(CB)がこういうプレーをしてくれたら助かるということを感じていたので、大学に進学して、CBにコンバートされた後には、高校までボランチをやっていた感じのことをCBとし



22DF  
PARK Jeongsu

# パク ジョンス

— やるようになっています」

— 高校と大学のサッカーはパスをつなぐスタイルだったのでしょうか？

「いえ、そういうサッカーはやったことはなかったです。僕は中学生の頃からバルセロナのサッカーが好きでよく見ていました。それを見ながらどうやってボールを動かして、どうプレーをするのかを熱心に見ていた影響はあると思います。個人練習では、そのイメージを持ちながらいろいろなことを考えてプレーをして、他の選手と比べて自分だけが持っているもの、違いは必要だと思いましたし、相手のMFはここにパスを通されたら嫌だろうなと考えながらやってきたことが、こういうプレースタイルになったのだと思います」

— パク・ジョンス選手のレイソルでのリーグ戦デビューの相手は、昨年まで在籍していた横浜F・マリノスという因縁がありました。

「試合前からF・マリノスとの対戦ということで自分自身楽しみにしていました。試合中も楽しかったですし、対戦相手のF・マリノスの選手の特徴をチームメイトに全て伝えたくて、我々がやろうとしたサッカーができて、結果を出すことができました。非常に良い試合だったと思います」

— しかしACLでは1敗1分と結果が出ていません。「結果は2試合とも残念でした。もう少し勝ち点を積み重ねられればよかったと思います。ただ、まだ試合は残っていますし、勝ちにこだわって、まずはグループリーグ突破を目指します」

— 今回の相手は香港の傑志です。どのような印象が

— ありますか？

「特に警戒しなければいけないのはフォロラン選手だと思います。フォロラン選手はヨーロッパでも活躍した非常に優れた選手だというのは誰でもわかっています。ただ、僕の立場からすれば、相手は誰が出てこようともチームの勝利のためにプレーをするだけなので、自分の長所を生かしてチームの勝利に貢献していきたいです」

— 天津権健戦では、最後にモデスト選手、バト選手というワールドクラスの一発で勝利を逃しました。あの試合の反省材料を生かさなければいけないでしょうか？

「チームメイトからは、昨年も試合を支配していたのに、最後の最後で失点をしてしまっただけで勝点を落とすという話を聞いています。そういう部分は選手同士で話し合い、これから改善しなければいけません。そこを改善することでリーグ戦とACLで良い結果が付いてくるはずですが、また、試合終盤で勝っている状況では無理にビルドアップをするのではなく、セーフティーにプレーすることや、できるだけ相手陣内でプレーすることも大事になってくると思います」

— 最後のサポーターへのメッセージをお願いします。「アウェイでの全北戦とホームの天津戦ではたくさんの応援ありがとうございました。残念な結果になってしまったのは大変申し訳ないですが、残りの試合は面白くて強いサッカーを見せたいと思っていますし、そのサッカーをするために日々頑張っています。皆さんの応援が僕たちの力になりますので、引き続き熱い応援をお願いします」



### 「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」

プロ野球のヤクルトスワローズや阪神タイガースで監督を務めた野村克也氏が語ったことで有名になったこの言葉は、江戸時代中・後期の大名、肥前国平戸藩の第9代藩主にして、心形刀流の達人だった松浦静山が、剣術書『剣談』に記した一句である。

「何の理由もなく負けるわけではなく、負けにはそれなりの理由がある。逆に、勝った場合でも負けにつながる要素があるため、勝ったからといって、それを見過ごしてはならない」

そういう意味が込められているという。

同じように、私個人は勝利にも必ずそれなりの理由があると思っている。

前置きが長くなったが、ここから本題だ。先週金曜日、レイソルはJ1リーグのホーム開幕戦で横浜F・マリノスを2-0で下し、今季リーグ戦初白星を飾った。前半からF・マリノスにボールを握られる苦しい展開であり、レイソルは自分たちのスタイルではなく、守備の重きを置いて試合に臨んだ。

思えば昨年一昨年シーズンの出だしでつ

まづき、その勝てない状況を何とか変えようとしたどりに着いた先は技術や戦術面はもとより「ハードワークをする」「球際で戦う」というベースとなる部分だった。

そういう意味では、今回のF・マリノス戦も共通点の多い試合だったと思う。得点の形を振り返ると、1点目は相手のクリアボールが小泉慶の足に当たり、そのままゴールへ吸い込まれた。2点目は大谷秀和のシュートを相手DFがクリアしきれず、そのままゴールへと転がったオウンゴールだった。綺麗に崩し切った鮮やかな得点とは違う。

しかしその直前の局面を見ると、伊東純也が猛然としたプレスバックでユン・イルロクからボールを奪い取り、2点目もボールをロストした瞬間にクリスティアーノがミロシュ・デゲネクに寄せたため、相手のクリアミスは誘発させ、それを拾った伊東のドリブルが起点となった。

トラッキングデータによれば、総走行距離はF・マリノスに若干上回られるも、両チームを通じて最高距離を走ったのは小泉の13.164キロ、スプリント回数ではチームトータルでF・マリノスを16回も上回り、個人では伊東が30回、小池が27回、小泉とクリスティアーノが24回と全員が本当によく走り、ハードワークの意識を最後まで失わ

なかった。試合終了のホイッスルが鳴り響いた直後、ピッチの上に選手が倒れ込んだのも納得できる。しかもACLと並行する過密日程をこなしながら、体力的には相当きつかったに違いない。

また、走る以外でも、球際では全員が果敢なバトルを繰り広げ、相手のシュートに対しては身体を張り、入ってくるクロスボールも鎌田次郎、パク・ジョンス、途中から入った中谷進之介がしっかりと跳ね返し続けた。

これまでのレイソルの哲学の試合とはほど遠い展開だったかもしれない。だが、キム・ボギョンは「一番大事なのは結果。内容はその次」と、あくまで“勝利”を強調した。それには私も賛同したい。大谷も栗澤僚一も、勝つために最も必要なことは「ハードワークをすること」「球際で戦うこと」「身体を張ること」と述べ、「そこができていれば戦術は後からついてくるもの」とも話している。F・マリノス戦は、その姿勢を90分に渡って貫いたことが最大の勝因だった。

チームのベースとして、こうした戦い方をスタンダードに。

Profile / 鈴木潤 Jun SUZUKI

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

### サッカーを愛する皆様へ

J1リーグ及び柏レイソルでは、安全で快適な試合観戦環境をご提供するため、「試合運営管理規程」に基づいて試合の安全管理とセキュリティを行っております。ご観戦の際は、柏レイソル公式HPや各入場ゲート付近に掲出している「試合運営管理規程」を遵守していただき、試合の雰囲気を盛り上げるようなフェアな応援をお願いいたします。観戦ルールやマナーを守っていただくことで「安全で快適なスタジアム」は実現できると考えております。皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。また地震が多発している状況を受け、当クラブでは安全対策の強化に取り組んでいます。試合前、試合中に大きな揺れを感じた場合はあわてて出口や通路、階段に殺到しないようし、身をかかめる、頭を保護するなど身の安全を確保してください。なお、試合中に緊急地震速報が発表された場合、一時試合を中断いたします。場内アナウンスの指示に従って落ち着いて行動していただきますようお願いいたします。

### KASHIWA Reysol 2018 Game Schedule

#### 明治ア田生命J1リーグディビジョン1

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
1	2月25日(日)	13:00	ベガルタ仙台	ユアスタ	A	●0-1
2	3月2日(金)	19:30	横浜F・マリノス	三協F柏	H	○2-0
3	3月10日(土)	15:00	セレッソ大阪	三協F柏	H	
4	3月18日(日)	15:00	ガンバ大阪	吹田S	A	
5	3月30日(金)	19:30	ヴィッセル神戸	三協F柏	H	
6	4月8日(日)	15:00	サンフレッチェ広島	三協F柏	H	
7	4月11日(水)	20:00	サガン鳥栖	ベアスタ	A	
8	4月14日(土)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	三協F柏	H	
9	4月22日(日)	16:00	V・ファーレン長崎	トラスタ	A	
10	4月25日(水)	19:00	浦和レッズ	三協F柏	H	
11	4月28日(土)	14:00	清水エスパルス	アイスタ	A	
12	5月2日(水)	19:00	湘南ベルマーレ	BMWスタ	A	
13	5月5日(土・祝)	14:00	ジュビロ磐田	三協F柏	H	
14	5月12日(土) or 7月25日(水) <sup>*1</sup>	15:00	川崎フロンターレ	三協F柏	H	
15	5月20日(日)	14:00	名古屋グランパス	豊田スタ	A	
16	7月18日(水)	19:00	FC東京	三協F柏	H	
17	7月22日(日)	18:30	鹿島アントラーズ	カシマ	A	

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
18	7月28日(土)	19:00	ヴィッセル神戸	ノエスタ	A	
19	8月1日(水)	19:30	湘南ベルマーレ	三協F柏	H	
20	8月5日(日)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	札幌ド	A	
21	8月11日(土・祝)	19:00	ベガルタ仙台	三協F柏	H	
22	8月15日(水)	19:00	FC東京	味スタ	A	
23	8月19日(日)	19:00	ジュビロ磐田	ヤマハ	A	
24	8月25日(土) <sup>*2</sup>	19:00	V・ファーレン長崎	三協F柏	H	
25	9月1日(土) or 9月2日(日)未定		横浜F・マリノス	日産スタ	A	
26	9月15日(土) or 9月16日(日) <sup>*3</sup>	未定	清水エスパルス	三協F柏	H	
27	9月22日(土) or 9月23日(日・祝)未定		サガン鳥栖	三協F柏	H	
28	9月29日(土) or 9月30日(日)未定		浦和レッズ	埼玉	A	
29	10月6日(土) or 10月7日(日)未定		サンフレッチェ広島	Eスタ	A	
30	10月19日(金)	未定	名古屋グランパス	三協F柏	H	
31	11月3日(土) or 11月4日(日) <sup>*4</sup>	未定	川崎フロンターレ	等々力	A	
32	11月10日(土) <sup>*5</sup>	未定	鹿島アントラーズ	三協F柏	H	
33	11月24日(土)	未定	セレッソ大阪	ヤンマー	A	
34	12月1日(土)	未定	ガンバ大阪	三協F柏	H	

\*1 両チームもしくはいずれかのチームがAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出した場合、7月25日(水)に開催。両チームともにAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出しなかった場合、5月12日(土)に開催となります。\*2 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が8月24日(金) 19:30@三協F柏に変更となる可能性があります。\*3 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が9月14日(金)に変更となる可能性があります。\*4 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が10月31日(水)に変更となる可能性があります。\*5 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が11月6日(火)もしくは11月7日(水)に変更となる可能性があります。

AFC  
チャンピオンズリーグ  
2018  
グループステージ  
グループE

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
1	2月13日(火)	19:30	全北現代モータース(KOR)	全州	A	●2-3
2	2月20日(火)	19:30	天津権健(CHN)	日立柏	H	△1-1
3	3月6日(火)	19:30	傑志(HKG)	日立柏	H	
4	3月14日(水)	20:00(現地)	傑志(HKG)	香港	A	
5	4月4日(水)	19:30	全北現代モータース(KOR)	日立柏	H	
6	4月18日(水)	未定	天津権健(CHN)	未定	A	